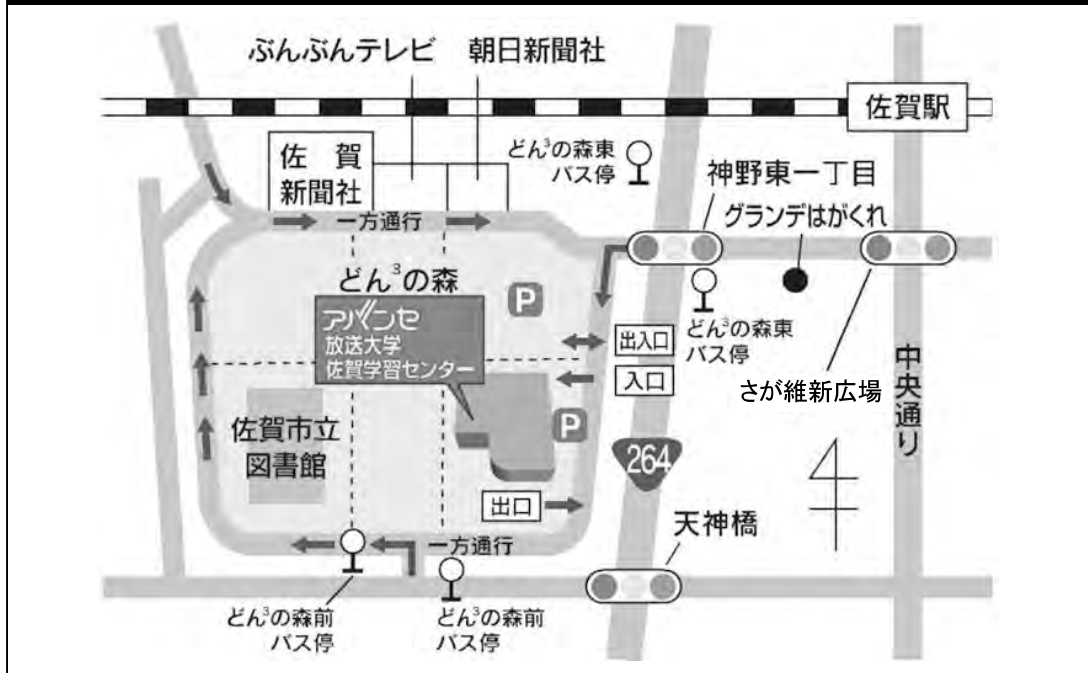


佐賀学習センター

(コード：41A)

佐賀学習センター案内図 ☎0952-22-3308



【所在地】〒840-0815 佐賀市天神3-2-11
(佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター(アバンセ内))

【交通アクセス】

●JR佐賀駅から徒歩10分

JR 佐賀駅の南口から駅前中央通りを南に約 200 メートル進み「さが維新広場」交差点を右折、そのまま400メートルほど進み「神野東一丁目」交差点(国道264号線が交差)付近で左前方にアバンセ(薄いピンク色の4階建)が見えます。

●JR 佐賀駅からバス

佐賀駅バスセンター4番乗り場→58番「中折・クレオパーク鍋島」行き又は59番「鍋島駅北・クレオパーク鍋島」行きに乗車→「どん3(どんどんどん)の森前」バス停下車。(所要時間約5分)

【自家用車ご利用の方】

●駐車場

アバンセ北側の駐車場(無料)をご利用ください。利用時間は、(火～土)8:30～22:00、(日)8:30～17:00です。利用時間外は施錠されます。その他、駐車場に関する件は佐賀学習センターにご連絡ください。

【その他連絡事項】

佐賀学習センターの面接授業で使用する教科書は、インターネット・書店にて各自購入してください。時間がかかる場合がありますので早めに準備をお願いします。

佐賀学習センターでは昼食の注文は受付けておりませんので、各自でご準備ください。

科目コード	2687984	授 業 概 要	【授業内容】 本授業では心理カウンセリングにおける基本的な考え方や技法について、講義だけではなく、ペアワークやグループワークの演習を通して理解することを目指します。特に、心理カウンセリングを行う土台となる、カウンセラー側である自分自身について理解を深めることを目指します。具体的には自分自身の自己表現のあり方、自分自身のストレス状態の把握や付き合い方について理解を深めます。 【到達目標】 心理カウンセリングを行う自分自身の心理ストレス状態を的確に把握することができるようになる。また、心理カウンセリングにおける自分自身の関わりの特徴（コミュニケーションのありよう）を自覚することができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション。心理カウンセリングについて（講義） 第2回 ウォーミングアップ（演習） 第3回 ストレスマネジメント（講義） 第4回 ストレスマネジメント（演習） 第5回 心理カウンセリングにおける自己表現（講義） 第6回 心理カウンセリングにおける自己表現（傾聴）（演習） 第7回 心理カウンセリングにおける自己表現（アサーション）（演習） 第8回 まとめ（講義） 【学生へのメッセージ】 心理カウンセリングにおける基礎的な演習内容です。ペアワークやグループワークを行いますので、マナーを踏まえて、他の参加者と協力しながら、主体的に参加してください。 【受講前の準備学習等】 この授業を受講する前に、学部科目「心理カウンセリング序説」等を受講するなど心理カウンセリングに関する知識をある程度得ておくことをお勧めします。また、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	心理カウンセリング 基礎演習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ナカシマ マサオ 中島 正雄 放送大学教授		
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年4月19日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2688026	授 業 概 要	【授業内容】 身近な生き物たちの不思議な生態や生き物同士の相互作用の理解を通して、生態系の仕組みや生物多様性について学びます。また、生物多様性や生態系を保全することの意義や、様々な地球環境問題に関して私たちはどんなことに留意すべきなのかを考察します。一部の回には、会場周辺の野外観察（フィールドワーク）も行います（荒天の場合を除く）。 【到達目標】 生物間相互作用および生態系・種・遺伝子レベルの生物多様性に関して理解し、人類による開発や気候変動、侵略的外来種などが生物多様性に及ぼす影響について説明することができる。また、生態系サービスの概念を理解し、生物多様性の保全がなぜ必要なのか、保全するためにはどのような取り組みが必要なのかを説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 地球はなぜ緑で覆われているのか：植物の被食防御戦略 第2回 生物間相互作用が産み出す生物多様性：植物と植食者の関係 第3回 宿主をたくみに操る生物たち：寄生者による宿主操作 第4回 生物たちの生き残り戦略：一見奇妙な行動の意味を理解する 第5回 生物多様性の危機1：地球温暖化が生物多様性に及ぼす影響 第6回 生物多様性の危機2：侵略的外来種が生物多様性に及ぼす影響 第7回 佐賀の貴重な生き物たち：森から海まで 第8回 生物多様性のこれまでとこれから：私たちにできること 【学生へのメッセージ】 身近な生き物を対象とした研究成果を紹介しながら、生物多様性や生態系について一緒に考えてみましょう。生物に関する予備知識がなくても受講可能です。 【受講前の準備学習等】 気候変動や侵略的外来種と生物多様性の関係について、また生態系サービスについてインターネット等で調べておいてください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 配布した資料を参考にして毎回の授業で学修した内容に関して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 天候を見て、短時間野外に出て植物や昆虫の観察をする場合がありますので、活動できる服装や靴でお越しください（両日とも雨天の場合には室内学習のみとします）。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	身近な自然から考える生物多様性		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	トクダ マコト 徳田 誠 佐賀大学農学部教授		
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年4月26日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室 一部の回は どんどんの森 (佐賀県佐賀市天神三丁目)		

科目コード	2687992	授業概要	【授業内容】 佐賀藩の成立と発展の歴史について学びます。城下町の整備と長崎街道沿いの産業・商業の発展の歴史を中心に学びます。座学と佐賀市内の史跡・関連施設におけるフィールドワークを組み合わせた授業です。 【到達目標】 佐賀藩の成立と発展の歴史、特に城下町の整備と長崎街道沿いの産業・商業の発展の歴史について、説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 佐賀藩の成立 第2回 本藩と支藩 第3回 城下町の整備と長崎街道 第4回 フィールドワークの事前学習 第5回 フィールドワーク（松原神社、佐嘉神社等） 第6回 フィールドワーク（鍋島緞通、長崎街道等） 第7回 フィールドワーク（佐賀市歴史民俗館） 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 佐賀藩の成立と発展の歴史について、基礎的な内容をわかりやすく解説します。座学と佐賀市内の史跡・関連施設におけるフィールドワークを組み合わせ、理解を深めます。 【受講前の準備学習等】 ①佐賀藩の成立と発展の歴史に関する書籍を探して読んで予習しましょう。 ②シラバスに記載されているフィールドワークを行う史跡・関連施設のホームページを閲覧して予習しましょう。 ③受講後は、受講時に配付する資料を読んで、授業内容を復習してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 5月17日はフィールドワークを行いますので、歩きやすい服装や履き物で参加してください。 雨天の場合も現地研修を行いますので、雨具を必ずご持参ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	佐賀の歴史と文化 1		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	中尾 友香梨 ナカオ ユカリ 佐賀大学 国際交流推進センター教授		
日程実施時間	2026年4月26日(日) 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年5月10日(日) 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年5月17日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	4月26日、5月10日は 佐賀学習センター アバンセ第2研修室 5月17日は 佐賀市歴史民俗館 (旧古賀家1号室等) (佐賀県佐賀市柳町3-15)		

科目コード	2688000	授 業 概 要	【授業内容】 約400年前に日本最初の磁器として創始された有田焼は、国内のみならず海外にも広く流通しました。各時代に作られた有田焼の魅力を理解し、その受容の歴史をたどると各国の生活様式や文化の特徴を知ることができます。また有田に残る史跡や町並みを見学して生産地のリアルな歴史を体感します。 【到達目標】 肥前陶磁の歴史と文化の特徴を習得するために、磁器と陶器の違い、陶磁器の製法、国内向けと海外向けの比較、肥前陶磁と外国陶磁との違い、年代による製品の変化、国内流通と海外輸出の史実等を理解し、個々の現象を的確に判断できるようになる。 具体的な陶磁器の判断基準や指標を用い、陶磁器を観察することで製作年代や用途を知り、それらが生産された歴史的背景や文化の特質、文化財としての価値を説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 陶磁器の歴史と文化1（肥前陶磁と国内流通） 第2回 陶磁器の歴史と文化2（海外輸出） 第3回 町内見学（泉山磁石場、有田町歴史民俗資料館等） 第4回 町内見学（窯跡、街並み保存地区等） 第5回 陶磁器の歴史と文化3（展示室の浦原コレクション） 第6回 陶磁器の歴史と文化4（展示室の柴田夫妻コレクション） 第7回 陶磁器の歴史と文化5（古伊万里の見方） 第8回 陶磁器の歴史と文化6（産地の伝統） 【学生へのメッセージ】 陶磁器は単に美しいものの鑑賞に留まらず、見方が分かれば様々な情報を引き出すことができます。古陶磁の歴史的な背景を理解し、その時代の文化や人々の暮らしぶりを楽しみましょう。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業1日目はフィールドスタディを行うため、歩きやすい服装で帽子を着用し、水分補給ができるものを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・常設展示ガイドブック「有田焼の歴史」～磁器が語る 奇跡のストーリー～（佐賀県立九州陶磁文化館／佐賀県立九州陶磁文化館／¥1,000） ・古伊万里の見方シリーズ1 種類（佐賀県立九州陶磁文化館／佐賀県立九州陶磁文化館／¥800） シリーズは2成形、3装飾、4窯詰め、5形と用途もあります。 どちらも佐賀県立九州陶磁文化会館受付で販売しています。郵送での購入方法はホームページをご覧ください。 【その他（特記事項）】 授業1日目の第3時限は町内の泉山磁石場で集合です。その後第4時限も徒歩で町内の窯跡や街並みを散策します。解散場所は街並みですが、車で参加される方は駐車場の関係で泉山磁石場に戻ることになります。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	スズタ ユキオ 鈴田 由紀夫 佐賀県立九州陶磁文化館館長		
日程実施時間	2026年5月9日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年5月10日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀県立九州陶磁文化館 (佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙3100-1)		

科目コード	2688018	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 医学・社会学・心理学・マーケティング・評価分析・品質管理などにおいて多種類のデータを要約したり、将来の数値を予測したりする試みが行われています。多変量解析は複数の変量のデータを解析して、変量間の関係を明らかにすることで有用な情報を抽出する手法と言えます。本授業では多変量解析の基本的考え方と基礎的手法を学び、データ分析ツールRを使った実習を通してこれらを確認します。本授業によって簡単なデータ分析が行えるようになります。 【到達目標】 多変量解析の基本的考え方と基礎的手法を理解すると共に、統計解析ツールRを使った実習を通して簡単なデータ分析が行えるようになる。具体的には以下の事項ができる。 ・回帰分析、主成分分析、判別分析の基本的概念を説明できる ・回帰分析、主成分分析、判別分析について簡単な分析を実践できる 【授業テーマ】 第1回 多変量解析とは 第2回 Rの使い方 第3回 回帰分析（1）基礎 第4回 回帰分析（2）実習 第5回 主成分分析（1）基礎 第6回 主成分分析（2）実習 第7回 判別分析（1）基礎 第8回 判別分析（2）実習 【学生へのメッセージ】 多変量解析の一端を、Rで実習しながら学んでみませんか。 【受講前の準備学習等】 事前学習として多変量解析が有用な場面を探しておいてください。R実行環境としてRStudioを使います。RおよびRStudioについて調べておいてください。 また、事後学習として面接授業で学習した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 ・この授業ではインターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・パソコンの基本的な操作（具体的には以下）を習得している必要があります。 1) 文字入力がある程度の速さでできる 2) ファイルやフォルダの管理、圧縮・解凍ができる 3) ファイルのダウンロード、メールの送受信ができる 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 授業中に学ぶ回帰分析、主成分分析、判別分析のいずれかについて問題を解き、その過程と結果を記述します。問題の具体的内容は授業の中で示されます。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 Windows（もしくはmacOS、Linux）が必要です。 3. ソフトのインストール ・文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いません。 ・表計算ソフトが必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いません。 ・Google Chromeブラウザが必要です。 ・統計解析ソフトとしてR及びRStudioを使用します。事前にインストールして動作確認をしておいてください。 4. その他 ・ソフトバージョン指定：有り OSはWindows11以上、Rはバージョン4.4以上、RStudioはDesktop Version: 2024.04.2以降を対象とします。 ・システムWAKABAにログインするためのIDとパスワード。 ※参考情報 Rのインストール https://sites.google.com/view/ds-zlab/R/Rinstall RStudioのインストール https://sites.google.com/view/ds-zlab/R/RStudioinstall 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	Rで学ぶ 多変量解析入門	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	アサイ キクオ 浅井 紀久夫 放送大学教授	
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年5月17日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第4研修室	

科目コード	2679183	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学における代表的実験を2つ（ミューラー・リヤー錯視、情報伝達（パートレットの系列的再生））取り上げて、心理学の実験方法、統計処理を含むデータ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生は原則として8回の授業すべてに出席し、2つの実験すべてのレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学実験とレポートの構成 第2回 データ分析のための統計法 第3回 実験実習1（ミューラー・リヤー錯視） 第4回 実験実習1のデータ分析とレポート執筆指導 第5回 実験実習1のレポートへの講評 第6回 実験実習2（情報伝達） 第7回 実験実習2のデータ分析とレポート執筆指導 第8回 まとめ 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 無線LAN（Wi-Fi）接続のできるノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 OSは、Windows11のみです（これは実験プログラムの都合によります）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・オフィスソフトのバージョン指定はありません。 ・レポートは、原則として授業中に、Google Classroomに提出をしてもらいます。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理学実験・研究レポートの書き方―学生のための初歩から卒論まで（4版） （B.フィンドレイ 著、細江達郎、細越久美子 訳／北大路書房／¥1,430／ISBN=9784762820465） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	15名	
担当講師	オカジマ イチロウ 岡嶋 一郎 西九州大学 子ども学部教授	
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年5月24日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第4研修室	

科目コード	2687933	授 業 概 要	【授業内容】 初めて韓国語を学ぶ人、またはもう一度しっかり基礎から学び直したい人のための授業です。短時間で、速く、できるだけ楽に、基礎が身につくように指導します。とにかく楽しくわかりやすい授業を目指します。K-POPや韓国ドラマをもっと楽しむための第一歩を踏み出しませんか？ 【到達目標】 韓国語の基礎を身につけ、簡単な会話ができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 基本母音 第2回 9つの基本子音 第3回 5つの激音 第4回 5つの濃音 第5回 合成母音 第6回 パッチム 第7回 二重パッチム 第8回 韓国語の「てにをは」 【学生へのメッセージ】 韓国語は発音も文法も日本語に近いので、最もマスターしやすい外国語です。短時間で速く楽しく基礎を身につけることが可能です。ぜひ一緒にチャレンジしましょう。 【受講前の準備学習等】 ①シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 ②受講後は授業で学んだ内容を復習しましょう。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。 【教科書】 ・ゼロからはじめる 韓国語書き込みレッスン（キム・スノク／アルク／¥1,870／ISBN=9784757433786） ドリルの問題を解くことが大切ですので、ドリルの問題がすでに書き込まれている中古品は避けてください。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	楽しい韓国語(入門編)		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	24名		
担当講師	ナカオ ユカリ 中尾 友香梨 佐賀大学 国際交流推進センター教授		
日程実施時間	2026年5月24日(日) 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年5月31日(日) 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年6月7日(日) 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年6月14日(日) 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第5研修室		

科目コード	2687950	授 業 概 要	【授業内容】 情報と情報システムを理解するために、情報とメディア、情報のデジタル化、コンピュータとプログラミング、データの蓄積と活用、情報システムについて基礎的事項を概説します。 【到達目標】 情報とメディア、情報のデジタル化、コンピュータとプログラミング、データの蓄積と活用、情報システムに関する基礎的事項について応用例を示して説明できる。 【授業テーマ】 第1回 情報と問題解決 第2回 メディアと情報技術の発展 第3回 情報のデジタル化 第4回 コンピュータの構成 第5回 アルゴリズムとプログラミング 第6回 モデル化とシミュレーション 第7回 データベースとデータ活用 第8回 情報システムの信頼性と安全性 【学生へのメッセージ】 現代社会において私たちは情報と情報システムによって支えられています。私たちがより充実した安全な毎日を送るために、情報と情報システムについて幅広く学びます。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	情報科学入門		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	210		
定員	30名		
担当講師	ホリ ヨシアキ 堀 良彰 佐賀大学理工学部教授		
日程実施時間	2026年5月30日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年5月31日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室		

科目コード	2679221	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学の基礎的な実験4つ（印象形成、自由再生による記憶の系列位置効果、アフォーダンス、顔面フィードバック）を取り上げ、実験の実施、関連事項の解説とレポートの書き方の説明を行います。受講生の皆さんは、実験では実験者や実験参加者の役割を果たし、その後、得られたデータの集計や分析を行った上で、レポートを作成します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、4つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 ガイダンス・顔面フィードバックの実施 第2回 顔面フィードバックの解説・レポート指導 第3回 自由再生による記憶の系列位置効果の実施 第4回 自由再生による記憶の系列位置効果の解説・レポート指導 第5回 アフォーダンスの実施 第6回 アフォーダンスの解説・レポート指導 第7回 印象形成の実施 第8回 印象形成の解説・レポート指導 【学生へのメッセージ】 実験結果を記録・集計・保存するために、ノート、電卓、USBメモリを持参してください。またレポート作成やグラフ作成などで、パソコンを使った作業もあるため、ワードやエクセルに慣れている事が望ましいです。なお、顔面フィードバック、アフォーダンスの実験では持ち物・服装に指定がありますので、「受講者が当日用意するもの」欄を確認の上、準備をしてください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。なお、レポートのテーマは授業内で実施した実験に関するものです。 レポートは、後日提出とします。
学習センター（コード）	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ヒダカ モトノブ 日高 茂 暢 佐賀大学教育学部准教授	
日程実施時間	2026年5月30日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年5月31日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	
授業概要		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 WindowsまたはmacOSのいずれかが必要です。 3. ソフトのインストール ・Wordが必要。 ・Excelが必要。 4. その他 ・USBメモリーを必ず持参してください。 ・必要人はマウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 5. 実験にて必要な物 ・筆記用具、電卓、定規、太めの軸のサインペン（1日目1コマ目の実験で口にくわえます） ・動きやすい服装と靴（2日目5コマ目の実験でハードルをまたいだり、くぐったりします） ※レポートを手書きで作成する場合は、方眼紙、のり、はさみを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会、認定心理士資格認定委員会／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312） ・心理学実験法・レポートの書き方（西口利文、松浦均／ナカニシヤ出版／¥2,420／ISBN=9784779502378） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責にやらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日まで最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照） 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2679256	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 2日間で、2種の実験を行い、それぞれ測定・データ入力・分析・レポート作成まで行います。実験は心理学における主要な研究方法の一つです。ただ単に、測定を経験するだけでなく、確からしい結論に至るための論理や工夫について学んでほしいと考えています。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、2つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方や具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 講義：心理学における実験の重要性と実験計画 第2回 実験：「鏡映描写」 第3回 実験のまとめと実験計画についての補足 第4回 実験：「ストループ効果」 第5回 講義：実験の計画立案 第6回 講義：表計算ソフトを用いたデータ処理 第7回 講義：表計算ソフトを用いたデータ処理2 第8回 実験のまとめとレポートの作成指導 【学生へのメッセージ】 「仮説通りの結果が出ない」「イコール「実験は失敗」ではありません。得られたデータをどう解釈するのがもっとも正しいのか？その根拠は？どう確かめればよいのか？と繰り返し自分に問いかけることがレポート作成において重要です。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 統計学の基礎知識（t検定・有意水準・帰無仮説など）と表計算ソフトの操作（データ入力やファイル保存、コピー、貼り付け、グラフ作成、ピボットテーブルなど）を学んでください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 キーボードが必要な実験を予定しています。ノートパソコンもしくは、キーボード付きタブレットを持参してください。 2. OSの指定 WindowsもしくはMac OSが望ましい。 3. ソフトのインストール ・文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いませんが、Wordで作成したファイルを配布します。 ・表計算ソフトが必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いませんが、Excelを用いて説明します。 ・ChromeやSafariなどのブラウザが必要です。 4. その他 ・マウスを持っている方はマウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出する場合、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・初心者でもすぐにできるフリー統計ソフトEZR（Easy R）で誰でも簡単統計解析（改訂第2版）（神田 善伸／南江堂／¥4,620／ISBN=9784524218615） 無料で使える統計ソフトのマニュアル本です。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 ・色識別を要する実験課題があります。 ・測定・データ収集に要する時間に変動があるため、休み時間が前後します。
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ハシグチ ススム 橋口 晋 長崎リハビリテーション学院 非常勤講師	
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年6月7日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	

科目コード	2687968	授 業 概 要	【授業内容】 佐賀県では、米、大豆、みかん、海苔など多くの農林水産物が生産されています。この授業では、佐賀の特産物を中心に、それぞれの食べ物に含まれる特徴的な成分や病気を予防するような機能性について学びます。また、地域の特産品に付加価値を付け、地域の活性化に繋げる取り組みが活発に行われています。その事例として、これまで私が行ってきた商品開発プロジェクトについて紹介します。そして、実際に佐賀の特産品を用いた商品開発に挑戦してみましよう。 【到達目標】 佐賀県特産の食べ物について、特徴的な成分や機能性について科学的な視点で説明することができ、それを活かした商品企画を提案することができる。 【授業テーマ】 第1回 穀類の科学 第2回 イモ類と豆類の科学 第3回 野菜と果物の科学 第4回 魚介類と藻類の科学 第5回 肉類と卵類の科学 第6回 佐賀の特産品を用いた商品開発プロジェクトの紹介（ヒシ、キクイモなど） 第7回 佐賀の特産品を用いた商品開発をやってみよう！（企画会議） 第8回 佐賀の特産品を用いた商品開発をやってみよう！（プレゼンテーション） 【学生へのメッセージ】 「佐賀の特産品」や「食べ物と健康」にご興味がある方は、ぜひ受講してください。また、商品開発も行いますので、一緒に楽しく魅力的な商品を考えましよう。 【受講前の準備学習等】 佐賀の特産品について調べておいてください。また、商品開発も行いますので、様々なアイデアを考えておいてください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。特に、商品開発での積極性を評価に加えます。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	佐賀の食べ物学		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ヤスダ ミドリ 安田 みどり 西九州大学 健康栄養学部教授		
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年6月14日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2688034	授業概要	【授業内容】 CMやPV、映画等における映像表現を巧みに用いた作品を鑑賞し、優れた構成や演出から映像デザインとしてメッセージの伝達や個性的な着想や表現が生まれることを理解してもらいます。また、CGやVR、デジタルファブ리케이션等、デジタル表現がもたらすサイバー空間とフィジカル空間を結ぶ概念を大学のスタジオ見学やVR体験等により体感してもらいます。映像文化と社会との関係性、テクノロジーの発達と映像表現の可能性を紐解き、映像デザインの現在を考えていきます。 【到達目標】 1) 映画、CMやPV、MV等、優れた映像作品を鑑賞することで、企画、構成や演出から映像デザインとしてメッセージの伝達や個性的な表現が生まれることを理解でき、適切に説明できる。 2) 映像文化と社会との関係性、テクノロジーの発達と映像デザインの関係性を理解し、適切に説明できる。 【授業テーマ】 第1回 「泣ける動画は何故泣けるのか？」 第2回 「CMから社会と自分を視る」 第3回 「映像文法と映画技法」 第4回 「ドキュメンタリー&モキュメンタリー」 第5回 「VR、イメージと物語を考える」 第6回 「リアルとヴァーチャルを往還する」 第7回 「光を紡ぐ、空間に配置する」 第8回 「映像収録スタジオ、ファブ리케이션スタジオ見学」 【学生へのメッセージ】 映像は視覚情報として絶えず私たちと繋がっています。視るから体感するに変化してきた映像の多様性を知り、デザインするという能動的な行為は今後必要なスキルです。楽しみながら受講していただければ嬉しいです。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 例えば、受講者が好きな映画、ミュージックビデオ、CM等を客観的な視点で視聴しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は所属コースのコース科目に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	映像デザイン ー映画からVRまで		
科目区分	総合科目		
ナンバリング	420		
定員	30名		
担当講師	ナカムラ タカトシ 中村 隆敏 佐賀大学 芸術地域デザイン学部教授		
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年6月14日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀大学 (佐賀県佐賀市本庄町1) 芸術地域デザイン学部 総合研究1号館 デジタルデザイン演習室		

科目コード	2687976	授業概要	【授業内容】 レオ・カナーの報告から始まった自閉スペクトラム症（自閉症）に対する捉え方と療育の展開について、心理学・教育学・社会福祉の視点から検討し、その障害を軽減し、発達を促進するために不可欠となる社会性を高める療育のあり方、および発達の視点による支援について明らかにします。なお、授業は講義形式で行います。 【到達目標】 自閉スペクトラム症（ASD・自閉症）に対する捉え方の変遷と支援方法の展開について理解したうえで、自閉スペクトラム症に対する理解を深め、適切な支援のあり方について説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 自閉症（自閉スペクトラム症）の最初の報告 第2回 心因論と遊戯療法 第3回 認知障害説と行動療法 第4回 受容的交流療法・感覚統合療法 第5回 生活療法（表象能力・象徴能力・観察能力・模倣能力の向上） 第6回 太田ステージ・SCERTSモデル 第7回 セルフマネジメント・サイコドラマ（心理劇） 第8回 社会適応能力を高める療育方法・まとめ 【学生へのメッセージ】 パワーポイントを使って講義をします。また、当日講義資料も配布します。受講した後で、授業内容を整理すると、どのようなことが大事なのかが掴めますので、講義をしっかりと聞いていただければと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具を持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	自閉スペクトラム症の理解と支援		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	マツヤマ イクオ 松山 郁夫 鎮西学院大学 総合社会学部教授		
日程実施時間	2026年6月20日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年6月21日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2687941	【授業内容】 演劇の手法による身体表現について、実技を通してさまざまなアプローチを体験します。身体表現理論に基づき、場面作業やゲーム、即興、演技などの表現方法を用いながら、多様な感情に向き合い、想像力を働かせることを実践します。身体表現のトレーニングを通して、自分の思いや考えを伝える力を養い、他者とのつながりに自信を持って、より円滑にコミュニケーションがとれるようになることを目的としています。 【到達目標】 学生は、演劇的手法による表現や他者との協働を通して、自分の気持ちや考えを伝える力を養い、自信や肯定感を高めることができるようになる。多様な人と関わる中でコミュニケーション力を育み、将来に活かす力を身につけることができる。 【授業テーマ】 第1回 インタロダクション（諸注意など）、コミュニケーションに関してのレクチャー、アイスブレイク 第2回 アイスブレイク、チームビルディング 第3回 身体表現理論レクチャーと実践、自己身体分析 第4回 チャップリンについて、身体コメディーション 第5回 最終課題シーンの説明、創作・練習・リハーサル 第6回 最終課題シーンの創作・練習・リハーサル 第7回 集大成として最終課題シーン発表 第8回 まとめ・振り返り 【学生へのメッセージ】 学生の皆さんは毎回違う人とグループを組み、自ら積極的に関わることが大切です。相手は自分が思う以上に受け入れてくれます。気持ちを身体や表情、言葉でしっかり形にして伝え、伝わる喜びを味わいましょう。 【受講前の準備学習等】 参考文献の平田オリザの著書などを通じて、演劇の手法がコミュニケーション能力の育成にどのように寄与するかについて触れておいてください。具体的には、演技や身体表現を通じて他者との対話力や自己表現力を高める手法の効果を探ります。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点より行います。なお、レポートのテーマは『授業の活動を通じて表現をすることについて、感じたことや考えたことを書いてください。』です。 【受講者が当日用意するもの】 スーツやヒールは控えていただき、動きやすい服装と運動靴での参加をお願いいたします。講義資料や課題はプリントで配布します。水分補給をこまめにしてください。水分補給ができるものを持参してください。 【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 ・わかりあえないことから——コミュニケーション能力とは何か（平田オリザ／講談社／¥968／ISBN=9784062881777） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	身体表現入門	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	210	
定員	40名	
担当講師	アオヤギ タツヤ 青柳 達也 佐賀女子短期大学 地域みらい学科准教授	
日程実施時間	2026年6月27日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 2026年6月28日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	